

棚田学会 第20回談話会・第9回若手研究者発表会

日時 2010年9月25日(土) 13:30~16:30 (受付 13:00より)

場所 早稲田大学文学学術院(戸山キャンパス)34号館 第3会議室
最寄駅 地下鉄東京メトロ東西線「早稲田駅」下車 徒歩約5分

プログラムⅠ 談話会(13:30~14:30)

講演 石工としての経験を語る

講演者 柘植 功 氏(岐阜県恵那市坂折棚田石積塾長・石工)

講演の概要

石積み棚田の作り方、井戸の石積み、雑割石と野面石の積み方などを説明する。石積塾の紹介や「石には八つの顔がある」という石積みの極意を伝えたい。

プログラムⅡ 若手研究者発表会(14:50~16:30)

発表① 棚田石垣の被災と復旧に関する実態調査

発表者 鎗木 諒 氏(東京大学農学部水利環境工学研究室 学部4年)

発表の概要

本研究は、棚田石垣の基本構造と被災・復旧の実態を明らかにすることを目的とした。被災の要因と形態について分類を行い、復旧方法とその選択理由、事業データからみる被災の分析を行った。最後に、段畑の石垣との比較、今後の石垣保全活動の方向性の検討などを行う。

発表② 棚田で育まれた酒米と湧水から醸造される「地酒」を活用した農村地域活性化
～新潟県村上市の地酒蔵と山北地区との関係性に着目して～

発表者 林 丈雄 氏(東京農工大学大学院連合農学研究科農業工学専攻 博士課程1年)

発表の概要

山北地区は酒米「高嶺錦」の名産地であり、名水「吉祥清水」の採水地でもある。両地域資源は大洋酒造の協力によって、地酒「日本国」として開発・醸造されている。この地酒が山北地区の地域活性化に与える影響を評価したのでその結果を報告する。



恵那市坂折(撮影:今井英輔)



長門市後畑(撮影:鎗木諒)



村上市山北(撮影:林丈雄)